
丸呑話ら
～ティラノサウルスに丸呑まれるだけのお話～
DINO
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



遺伝子技術が進歩し、
多様な研究が活発に行われる
様になった時代・・・

その中でも過去に滅んだ生命の
復元とその生態の研究を行う
巨大な研究施設があった

広大な敷地では、
恐竜から哺乳類まで
多岐に渡る絶滅動物を
復元している

復元された生き物達は、それぞれに適した
生活環境の中で育てられている

育成している過程で発見された生態と
生き物達の身体の仕組みを利用して、
新しい医薬品の開発や古代の歴史に関する
解明等、かつてない速度で進歩している

この私、ジェシカ・ボワードも
復元された生き物の飼育を担当する一人だ

よし！
今日の分の記録は完了♪

ドンドン

私はこの仕事も担当の生き物も
とても大好きだ♪

JURA
AGE 5 SEX: ♀

それじゃあ・・・

スト…

最後に、彼女、と少し
遊んでいこうかな～


私の担当する生き物はどんな子だと思いますか？
彼女「ジュラ」はとても賢くて、身体も大きくて力強い子なんです
ジュラ～っ！
今どこにいるの？
顔を見せて頂戴！
ズシッ
グルル…
ズシン
ズシン
もう分かりましたよね？
ジュラはティラノサウルスなんです！
見た目と違ってとても大人しい子ですよ
ガウッ
気分はどうかしら？
私の仕事も終わったし、
少しお話ししましょう♪
ズイッ


ふふ、くすぐったいわ♪
汗臭いからそんなに匂いを嗅がないでっ
スン
スン
グルル…
ひゃっ!?
ペロッ
もうっ！
いきなりどこを舐めているのっびっくりするじゃない！
プンスカ
ドクン…
ビクン
ビチャ
んぷっ!?


ドロ
ドロ
…。
♪
ぬちゃぁ…
うぅ…
凄い唾液の匂い、
身体中ベトベトじゃない…
ニチャ
ニチャ
グルル…
今日はやけに積極的な
スキンシップをしてくるわね…
ん、どうしたの？
ドロ…


ビリ
ビリ
み、耳が…
急にどうしたの？
こんな大きな声で
吠えるなんて初めてっ
ハッ
うそ…っ
ゴワッ
ガアアア


あっ
わ、わたし…
ジュラに
食べられる…？
ぬ ちゃ
バクンッ


わぷっ!?
ブニッ


上半身がジュラの柔らかい舌に沈み込んで…
じゅる
じゅる
し、舌先が脚に？
私の味を確かめているの？


ズポッ
ボグ
ギチ
ぢあっ!!
ゴリュ
ギュ
ビクン


ズロ
はあっ♪
ぬちゃあ～
はあっ♪
ズロ
ムクッ
んっ!?
みぢゅ
ムチィ
ガチィ
ムクッ
ゲン
グン
じゅっ
ぽ
ビチャ
ビチャ
じゅっ
ぽ


何度も喉と口を往復して…!?
私の体全体がしゃぶり尽くされてるっ
ハァ
ハァ
ハァ
グジュッ
ギチッ
ズリュッ
ティラノサウルス独特の強烈な口臭と
濃厚な唾液の臭いで思考が奪われるっ…
ビクン
ビクン
ギチッ
ゴキュ
ゴキュ
ビクン
ビクン
ふぐっ!?


ぬちゃあ…
ぷはっ
ハァハァ
ピクン
ピクン


唾液で全身ベトベト・・・
こ、腰が抜けて力が入らないわ、
生まれて初めて経験する感覚・・・
ビクン
ハァハァ
ドロ
ペタン
ピクン
ドロ
ピクッ
ドロ
それに酸欠状態だったから
頭もぼーっとするわ・・・
ズイッ
?
ガバァ
ビクッ
ジュラ・・これってまさか
「私から入って来い」って
言っているの・・・?
ドキ
ドキ
この中に・・・
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン


ジェシカ
駄目よ
ニチャ…
行ってはダメ…
ええ、分かってる…
この先に進んでしまったら、
私はもう帰ってくる事が
できない…
ドキ
ドキ
グッ
それでも…
グッ
ぬるぁ
ヒク
ヒク
にゅる
この奥で味わった感触が、
あの力強くも柔らかい抱擁が、
私の体を突き動かしてしまう…
わっ!?
ぬるぱっ
グイッ


ああ…
地面が遠くなっていく
もう私は戻る事が
できない…
カプン
少しずつ喉の奥に…
だ、大丈夫…
覚悟はできてるわ
ヌチュ…
ドロ
ハァ
ドロ


私は今、ジュラのご飯として「私自身」を捧げているんだわ…
あ…
グ…グゲゲ…
バクンッ
ゴクッ
ゴクン…
ゴクッ
く、苦しいっ
真っ暗で何も見えないっ
どんどん下に落ちていく!?


ゴクン
ボコッ
ドクン
ドクン
グポッ
ドクン
ドクン
あうっ!!
全身が痛いっ!!
か、体がっ
潰れちゃう…
ギィッ
ギィッ
ミシ
メキ
グググ
ドクン
ビチャ
ズリュリュ
ん
ビチャ
ドチャッ


はぁはぁ…
ここが終着地点？
ドクン
ハァ
ハァ
ドクン
ドロ…
ドロ…
グッ…
グフゥゥ～
今の私…
完全にジュラの
胃袋に入ったのね…
タプンッ


ドクン
ドクン
ムニュ
グニュ
ドロッ
トロ
ゴポポ…
ちゃぽ
ちゃぽ
ドクン
ドクン


柔らかく沈み込むけど
とても分厚い肉の袋…
ここで私はジュラの
ご飯として最期を
迎えるのね…
ドクン
ドロ…
ドクン
ちゃぷ
ドロ…
ちゃぷ
グルル…
この胃袋の中で私は
消化されてジュラの
一部になるんだわ…
ゴポポ…


どのくらい経ったのかしら？
服も溶けてきたし胃粘液も
結構溜まってきたかな・・・
でもおかしいわ・・・
本来ならすでに空気が無くなって、
私はすぐに窒息しているはず
それなのに私は
この中でまだ生きていて
胃粘液と共に緩やかに
揉みくちゃにされているっ
全身ヌルヌルの状態で
こんなにギュッとされたら
ドクン
トクン
ボー！・・・
ドロ・・・
ちゃぷ
ちゃぷん
ギュッ
ギュムッ
ミチッ
グチュッ
ハーハー


消化されているそのはずなのに…
私にはこの先に死が待っているのに…
キュルルル…
コポポ…
どうして私は今っ、こんなにも興奮しているのっ!!
ビクン
ビクン…
き、気持ち良い…私すごく感じてるわ
ドクン
ドクン
ドクン


やばい
ヤバイ…
消化されてるのにっ
手が止まらないっ!!
ちゃぷ
ちゃぷん
ゴポポ
ドクン
チュッ
んあっ!?
ドクン
ビクン
ビクン
ビ


はぁはぁ…
こんなに激しいの初めて…
胃粘液が顔までっ…
もう時間切れ…ね
ドクン
ちゃぷ
ゴポポ…
ん…？この振動はジュラなの？
ポンポン
ぐるる
ごめんね、ジュラ…
私はもう貴女の問いかけに答えて上げる事ができない…
ゴポポッ


ドクン
コポン
グルル…
さようならジュラ、私の大好きな…
ゴポッ
ドクン
ちらっ
…？
ハッ!!
おえっ
おえっ
おえっ
ボコッ
ボコッ
ビチャ
ビチャ
おえええええっ
ビチャ


ピチャ
ペロ
あれ？どうなって…？
体が寒いわ…
ペロ
ピチャ
ズロ
ズロ
ズロ
ここは…
外なの？
ピクン
ピクッ
ピクン
ドロ
ゴ
ン
私はジュラの胃袋に
居たはずじゃ…？
ケホ
ダメ…
身体も動かないし、
頭が働かない…
じー…
フーッ
フーッ
タラ～


何っ…!?
ニュルンッ
ジュラの舌が私の足を…?
あ～んっ
ズルズル
じゅるんっ
自分で吐き出したのにどうしてまた私を咥えるの…?
ぴくっ
はぐ
はぐっ
カプッ
や…
待って…
だらんっ


あぐ
えっ？待って？
また呑み込む気なの!?
あぐ
ゴクッゴクッ
ああっ、私…
もう一度
ぬちゃ
くちゃ
にちゃっ
あの分厚い胃袋の中に
戻されてしまうの…？
ジュラ…
貴女は一体何を考えているの…？
ゴクリ…


ゲブッ
ボヨン


ドクン
ドクン
うう・・・
相変わらず狭いわ
ぐちゃ
ぬちゃっ
ダプンッ
ドクン
ドクン
またこの場所に
戻って来るなんて
今度こそダメかも・・・


この際だから
まだ自由に動けるうちに
ドクン
グニュッ
ドロ
ドロ
グニィ
ドクン
ドクン
吐き出してもらえる様に
働きかけてみようかしら…
ドクン
ズルン
ズルン
うわぁっ!?
ヌルン
グルンッ

何が起こったの?
ジュラが体制を
変えたのかな?
ZZZZzz…
グギュルル…
ゴポポ…

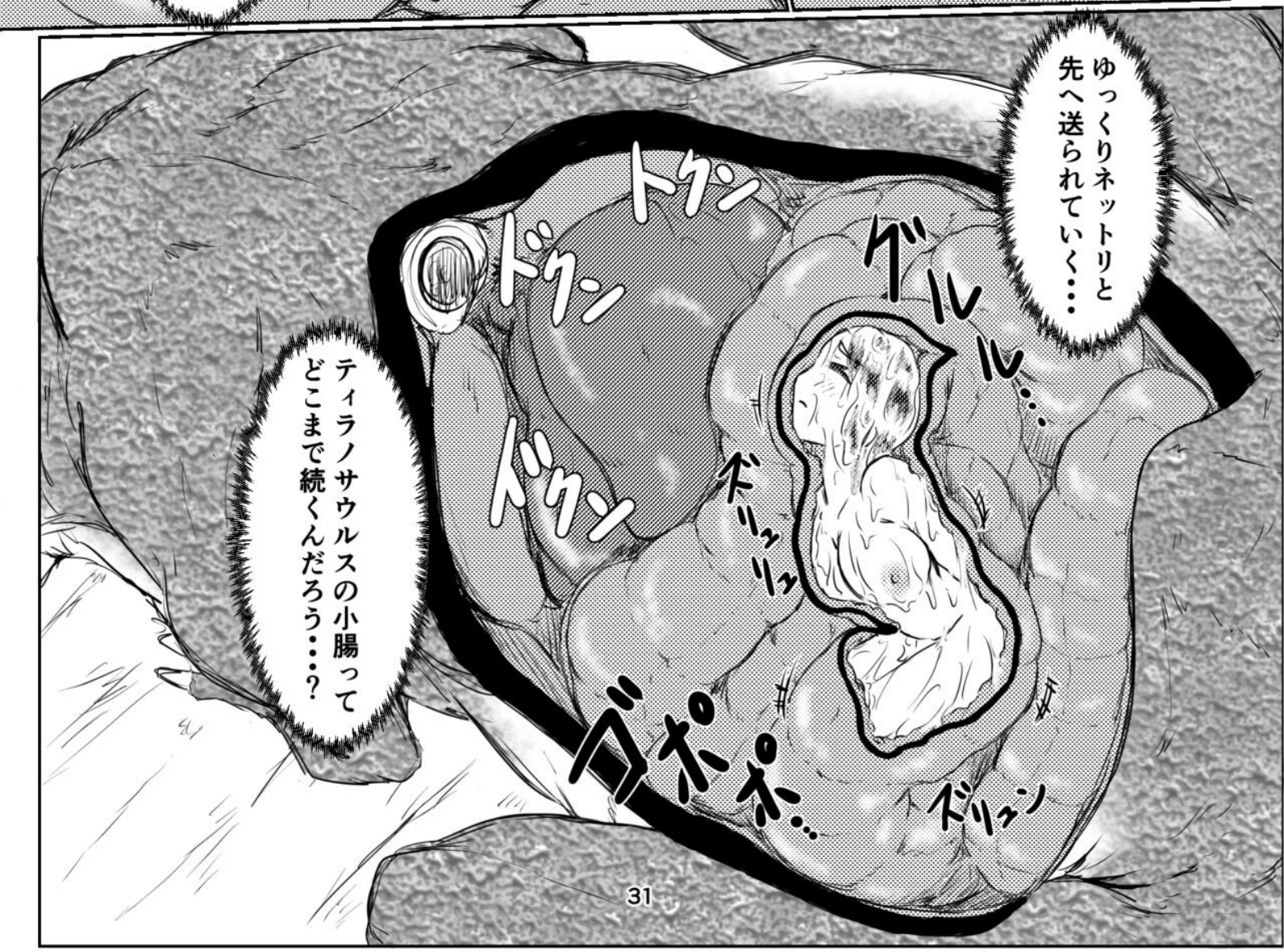

すっかりこの感触が
癖になっちゃったなぁ…
とりあえず…
ムラムラしちゃったから
一回だけイっておこうかな
Z
ZZ
ZZZ


ドクン
う~…
ヌルヌル滑るから
ちょっとした事で
大惨事だわ…
ニュル
ドクン
ギュッ
ニュルン
いてて…
何だかずっと
こんな調子ね…
ニュル
ドクン


お・・・
あったあった！
ドクン
ドクン
このコリコリしてる部分・・・
これって幽門だよね？
クニ
クニ
ちゃぷ
ちゃぷ
ここをこうやって
刺激すれば・・・
ちゃぷ
ちゃぷ
クニュ
クニュ
ドクン
ドクン
幽門が開いて胃の内容物を
吐き出してくれるかな・・・？
ドクン
ドクン
ぐにゅう
ぐにゅう
あっ
開いてきた！
これで出られ・・・
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ぐぐっ!?
ぼっ！


へっ…？
ち、違うっ…？
私が通ってきた食道は
こんな感触じゃあないっ
これは胃袋の「その先」に
進む方向だ!!
このまま進んだら…
取り返しのつかない事にっ
お願い待って…
私が行きたいのは
そっちじゃないの…
ドクン
ヌチュ
ピクン
ぐぷぷ…


進む度に・・・腸絨毛がふわふわ絡みついてくる
トクン
にゅる
トクン
ズリュ
グニュ
あっ
悔しいけどこれは気持ちいい・・・
にゅるん
トクン
にゅる
クチュ
ムリュ
状況は悪化してるのに・・・このふわふわ感を私は楽しんでしまってる
トクン


ゆっくりネットリと先へ送られていく・・・
トクン
ドクン
ドクン
グルル・・・
ズリュリュ
ボポポ・・・
ズリュン
ティラノサウルスの小腸ってどこまで続くんだろう・・・？


くあぁ～
長い間ふわふわな小腸を通過した後、
少し硬めで凹凸が大きいところを
進んだ先・・・
私は今、大腸にいる・・・
ヌチュ
ドクン
ニチッ
ベト・・・
グチュッ
進みが止まったから
長い道のりの終着点に
いるみたい
嗅覚は既に麻痺してるけど、
酷い匂いだと分かるわ・・・
ドロッ
グプン
でも、どうして排泄物が
ここに無いのかな？
その方が助かるけど・・・


ドクン
それにしても私がこんな体験をする事になるなんて・・・
ドクン
ドクン
最初は全身をしゃぶり尽くされて唾液まみれになり・・・
そのまま呑み込まれて胃液漬けにされて一度は死にかけたわよねしかも私は2回も呑み込まれて・・・
そして食道とは逆方向の小腸へと送り込まれて長い道のりを体験したわ・・・
グニッ
そして最後に肛門の手前で排泄されるのを待っていい・・・
あれ?周りが動き出してる?
ニチャ
ドクン
ゴポッ
ドクン
ドクン
ニチャア・・・
ドクン
グニュ
グニュ
あ、明かりが見える・・・やっと外に出られる!?
ドクン
ドクッ


ぷはぁっ
ズリュン
ああ…
分かっていたけど
本当に肛門だ…
ムリュ
ムリュ
ムリュ
ドロ
ドロ
やっと外に出てこれたけど…
ずっとこの姿勢だったから
体が固まって動かせない…
ギィッ
ニュル
ドロドロ
ガチ
どちゃっ
ヌルッ


まいったな…
本当に動けないや
スン
スン
ぐるる…
ポタン
ポタッ
また咥えた!?
もう勘弁して…
カプンッ
あぐ
ベロン
体が動かないから
抵抗できないっ
やっと出れたのに
また呑み込まれるのは
流石に嫌だ…!!
あぐ
ムチュ
くちゅ
ベッ
フラ
フラ
ニチャア
あ…体が動く…
もしかして私の体を
解してくれたの?
ありがとう
ジュラ…
ベト
ベト


外に出てくると・・・
また一段と酷い匂いね・・・
この体・・・
くんくん
ヌチャ
ニチャ
・・・
じーっ
ねぇ、ジュラ・・・
貴女、何だかすごく
満足そうな顔してない？
フリフリ
♥

ジャバババ

予定では胃袋までだったのだが、
まさか小腸から肛門までの
データも取れるなんて！
私の作った薬もしっかり働いて
ジェシカも無事で大成功だわ！

Esophagus
Stmach
Intestine

今回はジュラが思いの外ノリノリで
薬を打たせてくれたからな・・・
「ジェシカを独り占めできる」と言ったら
すごい勢いで食いついてくれて助かったわ♪
事前準備した腸内洗浄も役に立ったね・・・

うふ♥

ふむ・・・！
二人のおかげで
私の想定以上のデータを
取る事ができたな！

カチャ
カチャ
カチャ

一度体験しているし・・
この二人ならまた実験に
付き合わせてもよさそうだな

あはは♥
つめたーい

二人にはもっとたくさんのデータを
取ってもらって
私の研究にこれからも役に立って
もらおうかな・・・！

後、ジェシカはいい加減服着ろ！

END

奥付

大蛇以来の「○○○に丸呑まれるだけのお話」シリーズ
如何でしたでしょうか？
かなとふとしても久しぶりの個人誌となりました。

コミケ落ちると油断していた事と職場が変わり生活が
変化した事が合わさってギリギリまで仕上げる事に
なってしまいました。
荒めの仕上がりとなりましたが、ティラノサウルスの
雰囲気には合う形かなぁと言い聞かせてます…

さていつも通り、この漫画はご都合展開満載の
なんちゃってリアル風味でお送りしています～
特に最後、ジェシカを包む粘液は、トーンを貼ったら
余りにもう○こだったので断念しましたw
濃厚な怪しい粘液という事にしてください。

最後にこの特殊な本を手に取って下さった皆様、
ギリギリまで原稿を受け付けてくれるサングループ様、
本当にありがとうございました！

かなとふ



奥付
誌名　　：「丸呑話5～ティラノサウルスに丸呑まれるだけのお話～」
発行日　：２０２２年12月31日
発行者　：かなとふ(サークル　燈風屋)
Twitter ：knm_to_fu
PixivID　：19116803
連絡先　：ttkaname512@gmail.com
印刷会社：株式会社サングループ様(書籍版)

※作品の無断使用・無断転載、アップロードは禁止します。
上記を破ったことによって生じた問題は全て、行為を行った本人が負う物とします。
The producer of this WORK prohibits sharing the WORK by the Wired network and the resale.


カシャ!
ピース!

燈風屋

